

# 所理喜夫先生著作目録

小 高 昭 一 編

## 【著 書】

『徳川將軍権力の構造』

吉川弘文館 一九八四年 九月

## 【共著・編著・共編著】

『徳川將軍権力の生成と展開の研究』（昭和六十三年度科学研究費（総合A） 成果報告書）

（研究代表者）所理喜夫 一九八九年 三月

『戦国期職人の系譜』（杉山博博士追悼論集・永原慶二と共編）

角川書店 一九八九年 四月

『古文書の語る日本史6 江戸前期』

筑摩書房 一九八九年 七月

『図説 茨城県の歴史』（図説日本の歴史8）（共編・網野善彦・佐久間好雄・佐々木銀弥）

河出書房新社 一九九五年一月

『戦後歴史学』の中で』（木村礎著作集I）

名著出版 一九九六年 三月

『村の世界 視座と方法』（木村礎著作集VI）

名著出版 一九九六年 五月

『明治維新と下級武士』（木村礎著作集II）

名著出版 一九九七年 一月

『戦国大名から將軍権力へ―轉換期を歩く―』

吉川弘文館 二〇〇〇年 三月

【論 文】（\*印の論文は、著書『徳川將軍権力の構造』に収録）

「織豊政権への疑問」（共著…芳賀登ほか）

真説日本歴史第6 『下剋上の世の中』

雄山閣

一九五九年 九月

\* 「関東転封前後における徳川氏の権力構造について―特に天正十七・十八年の五カ国総検を中心にして―」

『地方史研究』四四号 一九六〇年 四月

\* 「元禄期幕政における『元禄検地』と『元禄地方直し』の意義」

『史潮』八七号 一九六四年 五月

\* 「三河山間部地帯における近世的村落の成立について―設楽郡武節郷・名倉郷を中心として―」

『地方史研究』八一号 一九六六年 六月

(後に芳賀登編『豪農古橋家の研究』雄山閣、一九七九年一〇月に収録)

\* 「近世村落成立についての一考察―三州渥美郡内の二・三の事例を中心として―」

『全国歴史教育研究協議会紀要』第三集 一九六七年 三月

「日本中近世史の史学史的一考察―中近世史の統一的把握の一前提として―」

『史潮』一〇〇号 一九六七年一〇月

\* 「幕藩権力の生成と農民闘争」

『史潮』一〇四号 一九六八年 八月

(後に『戦国大名論集12 徳川氏の研究』吉川弘文館、一九八三年一〇月に収録)

「愛知県北設楽郡稲武町稲橋区の共有林制度―三州稲橋村と豪農古橋暉兒の関連において―」

徳川林政史研究所『研究紀要』昭和四四年度 一九七〇年 三月

(後に芳賀登編『豪農古橋家の研究』雄山閣、一九七九年一〇月に収録)

「郷土における近世の成立」

古島敏雄他編『近世郷土史研究法』朝倉書店 一九七〇年 六月

「近世における地域概念考察の一前提―北下総石下地域を事例として―」

『地方史研究』一二四号 一九七三年 八月

\* 「江戸の出稼人」

西山松之助編『江戸町人の研究』第三卷 吉川弘文館 一九七四年 一月

\* 「貫高制論考―公田百姓と村落領主との関連において―」

『駒沢史学』二一号 一九七四年 三月

「初期検地と封建農村の成立」

荒居英次編『日本近世史研究入門』小宮山出版 一九七四年 四月

\* 「町奉行―正徳以前を中心として―」 西山松之助編『江戸町人の研究』第四卷 吉川弘文館 一九七五年 六月

\* 「享保改革と下総国『飯沼』の新田開発」 『駒沢史学』二四号 一九七六年 三月

\* 「南北朝期公田体制下における公田百姓―三州額田郡山中郷の事例―」

木代修一先生喜寿記念論文集2『日本文化の社会的基盤』 雄山閣 一九七六年 六月

「常総地方の文化人と江戸文化人」 『歴史手帖』四卷八号 一九七六年 八月

\* 「近世村落の構造と族制史についての一試論―初期本百姓と同族団の史的展開に関する一・二の事例を中心として―」

和歌森太郎先生還暦記念論文集編集委員会編『近世封建支配と民衆社会』 弘文堂 一九七六年 一月

\* 「変革期三河における抵抗の論理と支配の論理」 『史潮』新一号 一九七六年 一月

「佐竹時代の常陸」・「徳川領国の形成」 塙作楽編『常陸の歴史』 講談社 一九七七年 一月

「貫高制と石高制」 『歴史公論』一七号 一九七七年 四月

「十六世紀初頭における今川権力と松平権力」 『歴史手帖』五卷一〇号 一九七七年 一月

\* 「国人領主制展開過程の一事例」 杉山博先生還暦記念会編『戦国の兵士と農民』 角川書店 一九七八年 一月

\* 「北関東における近世的『町』の成立過程―下総国結城郡結城町を事例として―」

津田秀夫編『近世国家の成立過程』 塙書房 一九八二年 六月

「結城・佐竹旧領下における備前検地と小農経営」 西山松之助先生古稀記念会編『江戸の民衆と社会』

吉川弘文館 一九八五年 三月

「外郎売考」 共編『戦国期職人の系譜』杉山博博士追悼論集 角川書店 一九八九年 四月

「戦国大名今川氏の領国支配機構―天文・弘治期における三河国の事例―」

永原慶二編『大名領国を歩く』 吉川弘文館 一九九三年 四月

「改易・転封策と街道の整備―関ヶ原戦直後の東海道・中山道を事例として―」

藤野保先生還暦記念会編『近世日本の社会と流通』 雄山閣 一九九三年一月

「土浦土屋藩主歴代と江戸幕府奏者番」

『茨城県史研究』七六号 一九九六年三月

「『小流寺縁起』考―江戸幕府の利根川治水政策と関連して―」 三郷市史研究『葦のみち』一一号

一九九九年三月

「江戸幕府と利根川東遷事業」

編著『戦国大名から將軍権力へ―転換期を歩く―』 吉川弘文館 二〇〇〇年三月

### 【研究ノート等】

「松平徳川氏発生譚について」

『日本文化季報』二卷二号 角川書店 一九七六年八月

「徳川家康―その出自の疑問をめぐって―」

日本史の謎と発見九『信長と秀吉』 毎日新聞社 一九七九年四月

コメント「周辺農村の動態分析を視座とする都市研究について」

『史潮』新八号 一九七九年一月

「十六世紀初頭における三河松平氏の権力形態」

『戦国史研究』三号 一九八二年二月

「浅草の観音様と大名たち」・「貞享二年浅草寺別当追放事件について」・「浅草寺三譜代について」

浅草寺日並記研究会編『雷門江戸ばなし』 東京美術 一九八六年一月

「松平氏の職人支配に関する一史料」

『戦国史研究』一六号 一九八八年八月

「御朱印状」・「門前町の支配」・「江戸の町と門前町」・「明暦の大火」

浅草寺日並記研究会編『江戸浅草を語る』 東京美術 一九九〇年二月

「近世前期幕政と土屋土浦藩主―藩祖数直と二代政直を中心として―」

『茨城県史料』付録三六号 一九九五年三月

「綱吉の毀誉褒貶」

『江戸東京自由大学』 江戸東京歴史財団 一九九五年九月

「年表偶感」

『茨城県史研究』七八号 一九九七年三月

「近世前期東叡山領定免制関係史料と『高』―武蔵国足立郡伊興村を事例として―」(共著・多田文夫)

『毛長川流域の考古学的調査 下水道敷設工事に伴う発掘調査―総括編―』足立区伊興遺跡調査会 一九九九年 三月

「伊興地域の文献史学の研究経過と地域史」(共著・多田文夫)

『毛長川流域の考古学的調査 下水道敷設工事に伴う発掘調査―総括編―』足立区伊興遺跡調査会 一九九九年 三月

### 【史料紹介】

「新発見の家康文書について(例会報告要旨)」(共著・川村優) 『戦国史研究』六号 一九八三年 八月

### 【講演録】

「歴史と民衆―常総地域と佐渡ヶ島を事例として―」 『下妻の文化』創刊号 一九七六年 八月

「安治区有文書と安治村の歴史」 駒澤大学織田信長研究会 『木瓜』六号 一九八七年 三月

「歴史の中の日本の家族」 『いたばし区史研究』四号 一九九五年 三月

「為桜百年史編纂をふりかえって―為桜学―世紀を貫流するもの―」 下妻第一高等学校『為桜同窓会会報』第三八号 一九九八年 三月

### 【学界動向】

「一九六七年の歴史学界―回顧と展望―日本近世 二・三・六」(分担執筆) 『史学雑誌』第七七編五号 一九六八年 五月

「一九七二年の歴史学界―回顧と展望―日本近世 二」(分担執筆) 『史学雑誌』第八二編五号 一九七三年 五月

【書評・新刊紹介】

「藤野保著『幕藩体制史の研究』」

『史潮』八一号

一九六二年二月

「平沢清人著『下伊那地方の中世末より近世への推移 附・平沢清人地方史関係目録』」

『史学雑誌』第七九編二号

一九七〇年二月

「新行紀一『一向一揆の基礎構造』」

『歴史学研究』四三五号

一九七六年八月

「芳賀登・乾宏巳・石谷貞彦編『天明飢饉史料・石谷家文書』」

『歴史公論』三四号

一九七八年九月

「煎本増夫著『幕藩体制成立史の研究』」

『歴史公論』五六号

一九八〇年七月

【史料集】

『浅草寺日記』一〜二〇卷（浅草寺日並記研究会編）

浅草寺

一九七八年三月〜一九九九年三月

『玉露童女追悼集』一〜五（玉露童女追悼集刊行会編）

浅草寺

一九八八年二月〜一九九六年三月

【史料目録】

『大山祇神社文書目録 第一集』（愛媛県古文書緊急調査報告書第一集）

愛媛県教育委員会

一九八五年三月

\* 解題執筆（「解題 近世の大山祇神社文書・三島家文書とその性格（一）」）

『大山祇神社文書目録 第二集』（愛媛県古文書緊急調査報告書第二集）

愛媛県教育委員会

一九八七年三月

\* 解題執筆（共著・清水正史「解題 近世の大山祇神社文書・三島家文書とその性格（二）」）

『近江国野洲郡安治区有文書目録―戦国・近世の湖の村の素顔―』（中主町文化財調査報告書第四六集）

\* 執筆「安治区有文書との出会い」

中主町教育委員会

一九九五年三月

【動 向】

「昭和五十一年度第四回歴史資料保存利用機関連絡協議会大会参加記」

『地方史研究』一五八号 一九七九年 四月

「日本歴史学協会報告」

『地方史研究』一七四号 一九八一年二月

「日本歴史学協会報告」

『地方史研究』一七五号 一九八二年二月

「日本歴史学協会報告」

『地方史研究』一八一号 一九八三年二月

「日本歴史学協会報告」

『地方史研究』一八五号 一九八三年一〇月

「日本歴史学協会の会則変更と組織改編について」

『地方史研究』二一三号 一九八八年六月

「日本歴史学協会といわゆる国立史料館の移転問題について」

『地方史研究』二一八号 一九八九年四月

「国立史料館移転問題と学術情報システム―日歴協報告をかねて―」

『地方史研究』二二六号 一九九〇年八月

「日本学術会議報告(一)―一―二回総会(臨時)を中心として―」

『地方史研究』二三三号 一九九一年一〇月

「日本学術会議報告(二)」

『地方史研究』二三六号 一九九二年四月

「日本学術会議報告(三)」

『地方史研究』二三九号 一九九二年一〇月

「日本学術会議報告(四)―国立歴史情報資源研究センター(仮称)問題を中心として―」

『地方史研究』二四五号 一九九三年一〇月

「日本学術会議報告(五)―『国立歴史情報資源研究センター』(仮称)問題を中心として―」

『地方史研究』二五一号 一九九四年一〇月

「日本学術会議報告(六)―『国立歴史情報資源研究センター』(仮称)と

『アジア歴史資料センター(仮称)』問題を中心として―」

『地方史研究』二五七号 一九九五年一〇月

「日本学術会議報告（七）」―「国立歴史情報資源研究センター（仮称）の行方を中心として―」

『地方史研究』二六三号 一九九六年一〇月

「日本学術会議報告（八）」  
『地方史研究』二六九号 一九九七年一〇月

「日本学術会議報告（九）」  
『地方史研究』二七五号 一九九八年一〇月

「現在の史料を後世に残そう―公文書館の回顧と展望―」

（財）日本学術協力財団『学術の動向』三卷一―二号 一九九八年一二月

## 【短 文】

「創刊によせて」  
駒澤大学織田信長研究会『木瓜』一号 一九七一年一二月

「事務局だより」  
『地方史研究』一二一号 一九七三年二月

「事務局だより（署名なし）」  
『地方史研究』一二二号 一九七三年四月

「事務局だより」  
『地方史研究』一二三号 一九七三年六月

「事務局だより」  
『地方史研究』一二四号 一九七三年八月

「事務局だより」  
『地方史研究』一二五号 一九七三年一〇月

「事務局だより」  
『地方史研究』一二六号 一九七三年一二月

「一九七三年度（二十四回）大会報告（総会記事）」・「事務局だより」  
『地方史研究』一二七号 一九七四年二月

「事務局だより」  
『地方史研究』一二八号 一九七四年四月

「事務局だより（署名なし）」  
『地方史研究』一二九号 一九七四年六月

「事務局よりのお知らせとお願い」・「事務局だより」  
『地方史研究』一三〇号 一九七四年八月



- 「事務局よりのお知らせとお願い」・「事務局だより」  
「一九七四年度（第二十五回）大会報告（総会記事）」  
「学術体制小委員会（総会記事）」（共著・高島緑雄）  
「シンポジウム開催にあたって」（共著・中村義）  
「『結城市史第二巻近世史料編』の刊行によせて」  
「下妻市史刊行によせて」  
「信長研究会十五周年記念号によせて」  
「私が学生生活に求めたもの・得たもの」  
「『木瓜』二十周年記念号によせて」  
「編集後記」  
「新しい学問の創造を―新入生へのメッセージ―」  
「春秋に富む生命を大切に―夏休みの過ごし方―」  
「あとがき」（共著・竹内誠・森安彦）  
「結城藩」・「山川藩」  
「編集後記」  
「原点より自己を見つめる―卒業生に贈る―」  
「県史編さん25年にあたって」  
「宿場町と周辺農村の特色を」  
「あとがき」
- 『地方史研究』一三二号 一九七四年一〇月  
『地方史研究』一三三二号 一九七四年一二月  
『地方史研究』一三八号 一九七五年一二月  
『史潮』新四号 一九七九年一月  
『結城市史第二巻』付録 一九七九年一月  
『下妻市史余滴』 一九七九年一月  
駒澤大学織田信長研究会『木瓜』二号 一九八二年三月  
大学生活ブック『青年自らを磨く』 駒澤大学 一九八六年四月  
駒澤大学織田信長研究会『木瓜』七号 一九八八年三月  
三郷市史研究『葦のみち』創刊号 一九八九年三月  
『駒澤大学学園通信』 一九八九年四月  
『駒澤大学学園通信』 一九八九年七月  
津田秀夫編『近世国家と明治維新』三省堂 一九八九年八月  
木村礎・藤野保・村上直編『藩史大事典』第二巻 雄山閣 一九八九年一月  
三郷市史研究『葦のみち』二号 一九九〇年三月  
『駒澤大学学園通信』 一九九〇年三月  
『茨城県史研究』六五号 一九九〇年一月  
『いたばし区史研究』創刊号 一九九一年一月  
永原慶二編『大名領国を歩く』吉川弘文館 一九九三年四月

『全史料協』鳥取大会参加記

三郷市史研究『葦のみち』六号

一九九四年 三月

『編集後記』

三郷市史研究『葦のみち』一〇号

一九九八年 三月

『序文』

編著『戦国大名から將軍権力へ―轉換期を歩く―』吉川弘文館

二〇〇〇年 三月

### 【座談会】

『浅草寺日記』を語る（西山松之助・芳賀登・竹内誠等）

浅草寺日記並記研究会編『雷門江戸ばなし』東京美術

一九八六年 一月

『戦後地方史のうねり―自治体史の今後を見すえて―』（永原慶二・西垣晴次・森安彦・北原進）

大田区史研究『史誌』三八号

一九九三年 八月

『三郷村の成立を語る』

三郷市史研究『葦のみち』六号

一九九四年 三月

『三郷の交通を語る』

三郷市史研究『葦のみち』七号

一九九五年 三月

『三郷の水と生活を語る―灌漑用水とのかかわり―』

三郷市史研究『葦のみち』八号

一九九六年 三月

『三郷の水と生活を語るⅡ―暮らしのなかの水―』

三郷市史研究『葦のみち』九号

一九九七年 三月

『家族生活の今昔を語る』

三郷市史研究『葦のみち』一〇号

一九九八年 三月

### 【人物・講師紹介】

『木村礎先生の御紹介―第1回史学大会・第12回大学院史学大会記念講演―』

駒澤大学大学院史学会『史学論集』一五号

一九八五年 二月

「塚本学先生のご紹介―第16回大学院史学大会記念講演―」

駒澤大学大学院史学会『史学論集』一九号 一九八九年 二月

「故杉山博先生の学問とその系譜」 共編『戦国期職人の系譜』杉山博博士追悼論集 角川書店 一九八九年 四月

「木村礎氏と地方史研究」 木村礎著作集Ⅰ『戦後歴史学』の中で 名著出版 一九九六年 三月

「『地方史の思想』を求めて―近世の新風土記を事例として―」 芳賀登著作選集Ⅰ『地方史の思想』 雄山閣 一九九九年一〇月

### 【祝 辞】

「箭内健次先生の喜寿をお祝いして」 『駒沢史学』三四号 一九八六年 一月

「吉田常吉先生の喜寿を祝して」 『駒沢史学』三五号 一九八六年 五月

「杉山博先生の古稀をお祝いして」 『駒沢史学』三九・四〇合併号 一九八八年 九月

「初心忘るべからず」 『駒沢史学』五〇号 一九九七年一二月

「足立史談会創立三十周年を祝して」 『足立史談会創立三十周年記念誌』 足立史談会 一九九八年 四月

### 【エッセイ】

「歴史と私」 『歴史手帖』二三巻六号 一九九五年 六月

### 【追悼文】

「荒居英次氏を悼む」 『茨城県史研究』四七号 一九八一年 三月

「杉山博氏の逝去を悼む」

『地方史研究』二二七号

一九八九年 二月

「戸石博先生を悼む」

三郷市史研究『葦のみち』八号

一九九六年 三月

【自治体史】

監修

『三郷市史』全一〇巻・『三郷市史資料 地誌1』・『三郷のあゆみ』

三郷市

一九九〇年三月〜刊行中

『絵でみる年表 足立風土記』

足立区教育委員会

一九九二年 三月

『下妻市史』上・中・下

下妻市

一九九三年三月〜一九九五年三月

『為桜百年史』

茨城県立下妻第一高等学校 一九九七年 四月

『足立風土記稿 地区編8・花畑』・『足立風土記稿 地区編9・洲江』

足立区教育委員会

一九九六年 三月

『足立風土記稿 地区編6・綾瀬』・『足立風土記稿 地区編7・東洲江』

足立区教育委員会

一九九七年 三月

『足立風土記稿 地区編4・舎人』

足立区教育委員会

一九九八年 三月

『足立風土記稿 地区編2・西新井』・『足立風土記稿 地区編10・伊興』

足立区教育委員会

一九九九年 三月

『足立風土記稿 地区編3・江北』

足立区教育委員会

二〇〇〇年 三月

執筆・校訂

『近世史料Ⅲ 飯沼新発記』 (分担執筆・解説)

茨城県

一九七三年 三月

『茨城県史料 近世社会経済編Ⅱ』 (分担執筆・解説)

茨城県

一九七六年 三月

『茨城県史 近世編』 (分担執筆・第一章第一・二節・第二章第一〜三・五節)

茨城県

一九八五年 三月

- 『結城の歴史 写真集』 (分担編集責任者・執筆「近世の結城」) 結城市 一九七四年一〇月
- 『結城市史 第二巻・近世史料編』 (分担執筆・解題・あとがき) 結城市 一九七九年一月
- 『結城市史 第五巻・近世通史編』 (分担執筆・序説・第一編第一章一・第二編第三章・あとがき) 結城市 一九八三年三月
- 『下妻市史』 (分担執筆・中世・近世の内) 下妻市 一九七九年一月
- 『下妻市史 中』 (分担執筆・総説・第一章第一・二節・第四章第三節) 下妻市 一九九四年一月
- 『為桜百年史』 (監修・分担執筆・第一編第四章第三節) 茨城県立下妻第一高等学校 一九九七年四月
- 『石下町史』 (分担執筆・総説・第三編近世「近世の石下」) 石下町 一九八八年三月
- 『東海村史 通史編』 (分担執筆・近世第一章第一～四節) 東海村 一九九二年一〇月
- 『三郷市史 第六巻・通史編Ⅰ』 (分担執筆・あとがき) 三郷市 一九九六年三月
- 『三郷のあゆみ』 (分担執筆・あとがき) 三郷市 一九九九年三月
- 『三郷市史 第十巻・水利水害編』 (分担執筆・近世第一章第一・二節) 三郷市 二〇〇〇年三月
- 『絵でみる年表 足立風土記』 (コラム執筆) 足立区教育委員会 一九九二年三月
- 『図説板橋区史』 (分担執筆・第3章1―①家康入国) 板橋区 一九九二年一〇月
- 『板橋区史 資料編3 近世』 (総括・執筆・あとがき／共著・大谷貞夫) 板橋区 一九九六年三月
- 『台東区史 通史編Ⅰ』 (分担執筆・第四章第二節・第六章第三節) 台東区 一九九七年六月
- 『板橋区史 通史編 上巻』 (近世編監修・分担執筆・第一章第一節) 板橋区 一九九八年三月
- 『稲武町史 史料編・古代・中世 近世Ⅰ』 (分担執筆・解説第三章第二節) 稲武町 一九九八年三月
- 『稲武町史 通史編』 (分担執筆・第三章第一・二節) 稲武町 二〇〇〇年三月

【辞典・事典】

『新版郷土史辞典』(項目執筆)

『コンサイス人名辞典―日本編―』(項目執筆)

『角川日本地名大辞典13 東京都』(編纂委員・項目執筆)

『国史大辞典』(項目執筆)

『旺文社百科事典〔エポカ〕』(項目執筆)

『角川日本地名大辞典8 茨城県』(編纂委員・項目執筆)

『江戸学事典』(項目執筆)

『大百科事典』(項目執筆)

『日本大百科全書』(項目執筆)

『新版地方史研究必携』(改訂特別委員会委員長・分担執筆)

『戦国人名事典』(項目執筆)

『江戸東京学事典』(項目執筆)

『世界大百科事典』(項目執筆)

『藩史大事典』第二卷(分担執筆・「結城藩」・「山川藩」)

『コンサイス日本人名辞典(改訂版)』(項目執筆)

『徳川家康事典』(共編・藤野保・村上直・新行紀一・小和田哲男・分担執筆「徳川家康の系譜と略譜」)

吉川弘文館

朝倉書店 一九六九年 二月

三省堂 一九七六年 三月

角川書店 一九七八年一〇月

一九七九年三月〜一九九七年四月

旺文社 一九八三年一〇月

角川書店 一九八三年一二月

弘文堂 一九八四年 三月

平凡社 一九八四年一二月〜一九八五年六月

小学館 一九八四年一二月〜一九八九年三月

岩波書店 一九八五年 五月

新人物往来社 一九八七年 三月

三省堂 一九八七年一二月

平凡社 一九八八年三月〜四月

雄山閣 一九八九年一二月

三省堂 一九九〇年 四月

新人物往来社 一九九〇年 五月

『角川日本地名大辞典 別巻Ⅰ 日本地名資料集成』（編集委員）

『日本史大事典』（項目執筆）

『地方史事典』（分担執筆）

平凡社

角川書店 一九九〇年一月

一九九二年一月～一九九四年五月

弘文堂 一九九七年 四月